

## 「神奈川自衛隊音楽まつり」に参加して

神奈川地本カレッジ防衛モニター 清水 丈太郎

2月26日(日)、カレッジ防衛モニターの活動として、神奈川県民ホールで行われた「神奈川自衛隊音楽まつり2017」に参加した。今回の活動では、音楽鑑賞だけでなく、地本の職員に混じり運営の手伝いもさせて頂いた。

このイベントは、この春自衛隊への入隊・入校を予定する人々の激励を目的に開催されたもので、入隊予定者のご家族や一般の来場者の方々が朝早くから長蛇の列を作る光景は、同イベントの関心の高さを見てとれた。

我々モニターは開演までの間、受付ブースで来場者へのパンフレットの配布や誘導などを行った。受付に次々とやってくる入隊予定者たちを見ていると、国防を仕事にする決断しただけあって、全員の顔がとても輝いて見えた。

開演の時間が迫り、我々モニターも会場に向かった。音楽演奏では、自衛隊の音楽隊だけでなく、米海軍第7艦隊音楽隊や横浜創英中学・高等学校吹奏楽部も出演しており、とても華やかな演出であった。また、演奏曲も入隊予定者を鼓舞するような楽曲や若者世代に人気の代楽曲など、工夫を凝らした様々な曲で構成されており、とても楽しく鑑賞することができた。

感動的なイベントも終わり、最後にはモニター全員で「来年は自分たちが入隊予定者として、この音楽まつりに招かれる立場になろう」と誓いあった。これから先は、来年度の自衛官採用試験に向けて自分との戦いである。カレッジ防衛モニターという制度を紹介してくれた広報官やお世話になった渉外広報室の方々に入隊という形で是非恩返ししたい。



カレッジ防衛モニター集合写真  
(右から3人目が本人)

## 民間フェリー船内で自衛隊の活動をPR

自衛隊神奈川地方協力本部(本部長 松田辰雄 1等海佐)は、2月28日(火)、3月1日(水)の両日、横浜大棧橋に停泊中の民間フェリー「ナツチャンWorld」船内において、自衛隊の災害派遣活動等をPRした。

このイベントは、PFI事業として、災害時などに自衛隊の輸送に従事する同船が、横浜大棧橋に接岸することに併せ、南関東防衛局の主催により、災害派遣やPKO活動など自衛隊の活動についての国民の理解を深めることを目的に開催されたものである。

地本ブースでは、災害派遣活動パネルや戦闘糧食の展示、募集リーフレットの配布などを行なった。また、船内に開設されたセミナー会場では、予備自補制度の概要や自衛官OBの自治体防災官としての活躍などを紹介した。

神奈川地本は、「今後も各種イベントを通じて、自衛隊の活動に対する関心の喚起と理解の増進に努めていく」としている。



横浜大棧橋に停泊する「ナツチャンWorld」



戦闘糧食に興味を示す  
来場者たち



募集対象者にリーフレットを  
手渡す横浜中央募集案内所長